

けん玉発祥の地 廿日市市で けん玉体験をして、観光動画を作ろう

けん玉は、単なる子どもの遊びではありません。今や、世界中で注目を浴びている日本の文化です。

昨年から、けん玉ワールドカップも開催されているほどの人気ぶりです。

その、けん玉発祥の地が、広島県の廿日市市なのです。

今回の「目指せ！広島県子ども観光大使」（廿日市教室）では、けん玉を体験するだけでなく、できた技を披露しながらけん玉の魅力をアピールする観光動画を作成しました。

ぜひ、観光動画をごらんください。（左下の QR コードから視聴可能）



最初に、講師の砂原宏幸先生より、けん玉の歴史について教えていただきました。



けん玉を首からぶらさげる“けん玉ルック”で説明を聞きました。



玉をのせる時に、ひざを使うことがポイントだということを学びました。



検定試験は、けん玉実技試験でした。指定された技を練習して、全員合格できました！

TOSS 広島のホームページに、けん玉の観光動画をアップしています。QR コードから視聴できます。ぜひ、ご覧下さい。



参加児童の感想

- 最初はできなかったけど、練習をしていくと、だいぶできるようになって楽しかったです。
- けん玉一つに、あんな技があるとはびっくりしました。
- また今度も子ども観光大使の行事に行きたい。旅行に行った時に、友達ができたら、けん玉のことを言いたい。

保護者の感想

- 「やればできる」「できるようになることの喜び」を味わせていただき、子どもたちにとって、とても良い経験になりました。
- けん玉の歴史や技を目の前で見れて良かったです。
- 親の方が夢中になっておりました。子どもに負けないう、親も練習して上達したいと思います。